令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
1	□実務講座カリキュラムガイダンス 100-01(02-02)	川　波　祥　子	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 5（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分	【到達目標】実務講座の必要単位、履修方法を理解し、スケジュールを立てられる。 【概要】実務講座のカリキュラムおよび実務研修センターでの研修についてのオリエンテーションを行う。センタースタッフ紹介、センターでの組織、研修における単位認定、注意事項、日本医師会認定産業医の更新について説明を行う。	学内者のみ受講可
2	□入門シリーズ（総括管理概論） 100-02(02-02)	立　石　清一郎	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 7（木）	コマ数 0 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】産業保健の総括管理について、その意義、業務内容、および法令関連用語の意味について理解できる。 【概要】労働衛生における総括管理とは、労働衛生の三管理の基盤を構成する事業場の労働衛生管理体制づくり、労働衛生教育および三管理を包括する活動・リスクアセスメントを含めた労働衛生管理のことを指す。本講義では、それに関連する現行の制度や方法論について概説するとともに、産業医に期待されている事項について検討する。併せて、特定の業種における統括管理の考え方にも言及する。	
3	□入門シリーズ（学び合い①） 100-03(02-02)	センター教員	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 5（火）	コマ数 0 医師会認定単位区分	【到達目標】受講生全員が時間内に穴埋め課題と説明課題を達成することができる。①取り扱うテーマに関する課題についての情報をテキスト、Webなどを用いて調べられる。②調べた情報を参考にしながら、受講者同士で自分の考えを述べられる。 【概要】入門シリーズ（学び合い）の講座では、6コマそれぞれにテーマと課題を設けている。受講生は指定テキスト3冊を使用して、受講生同士で課題に取り組み、理解を深める「学び合い」方式に参加する。課題に取り組み、受講生同士で議論したり、教え合ったりすることで、テキストの読み方や実際の場面での活用の仕方の基本を身につけることを目指す。使用するテキストは次の三つ。①『労働衛生のしおり』は、労働衛生分野における法的枠組みや課題の確認に利用する。②『嘱託産業医のための職務Q&A』は、産業医学と産業保健に関する専門的知識を、実際の場面に即して産業医の職務や実践にどのように活かすかを学ぶ。③『写真で見る職場巡視のポイント』は、産業医が職場を理解して適切な活動を行うために極めて重要な職場巡視の基本や注意事項がまとめられている。	指定テキスト３冊使用
4	□入門シリーズ（学び合い②） 100-04(02-02)	センター教員	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 5（火）	コマ数 0 医師会認定単位区分	【到達目標】受講生全員が時間内に穴埋め課題と説明課題を達成することができる。①取り扱うテーマに関する課題についての情報をテキスト、Webなどを用いて調べられる。②調べた情報を参考にしながら、受講者同士で自分の考えを述べられる。 【概要】入門シリーズ（学び合い）の講座では、6コマそれぞれにテーマと課題を設けている。受講生は指定テキスト3冊を使用して、受講生同士で課題に取り組み、理解を深める「学び合い」方式に参加する。課題に取り組み、受講生同士で議論したり、教え合ったりすることで、テキストの読み方や実際の場面での活用の仕方の基本を身につけることを目指す。使用するテキストは次の三つ。①『労働衛生のしおり』は、労働衛生分野における法的枠組みや課題の確認に利用する。②『嘱託産業医のための職務Q&A』は、産業医学と産業保健に関する専門的知識を、実際の場面に即して産業医の職務や実践にどのように活かすかを学ぶ。③『写真で見る職場巡視のポイント』は、産業医が職場を理解して適切な活動を行うために極めて重要な職場巡視の基本や注意事項がまとめられている。	指定テキスト３冊使用

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
5	□労働安全衛生法および関連法令の通読 100-09(02-02)	センター教員	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 6（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 更新 1.5	【到達目標】受講生全員が時間内に穴埋め課題と説明課題を達成することができる。①取り扱うテーマに関する課題についての情報をテキスト、Webなどを用いて調べられる。②調べた情報を参考にしながら、受講者同士で自分の考えを述べられる。 【概要】産業医の活動には、労働安全衛生法およびその関連法令を理解することが不可欠である。本講習では、法・令・則などの日本の法体系を意識しながら、労働安全衛生法の全章に目を通し、単独で内容を調べることができるようなるとともに、労働安全衛生法の概要を把握することを目標とする。そのため下記の使用教材を用いて、受講生同士で課題に取り組み、理解を深める「学び合い」方式で進める。課題に取り組み、受講生同士で議論し、教え合うことで目標の達成を目指す。 【使用教材】『安全衛生法要覧』中央労働災害防止協会、『安衛法便覧』労働調査会	
6	□産業医に関する裁判例～産業医が当事者となった例、重要な関与を果たした例を中心に～ 100-10(02-02)	三　柴　丈　典	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 6（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】産業保健に関する裁判例等の「生きた法」を知ることで、重視すべきルールと後回しにしてよいルールを見抜き、自信を持って人・組織相手の真剣勝負（リスクテイク）を行える。 【概要】産業保健にとって法は重要な意味を持ちます。健康障害の原因、発生機序が分かりにくく、紛争に発展し易いこと、予防業務をルールで枠づけていること等が理由です。しかし、重要なことは、ルールに使われることではなく、ルールの作り手の思いとルールを使う人の悩みと工夫を知り、ルールを活かすことです。本講話では、産業医に関わる裁判例、ご希望があれば応召義務など臨床にも関わる裁判例などの解説を通じて、実務に活かせる「生きた法」を解説します。	
7	□産業医と倫理 100-11(02-02)	石　丸　知　宏	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 8（月）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】本来有する医師の倫理と法令に基づく企業の安全配慮義務を踏まえた産業医特有の倫理について理解し、具体的な事例に対応できる。 【概要】産業医の実務遂行において、その根幹に必要とされるのは産業医としての倫理的基盤である。プロフェッションである医師としての産業医には、いわゆる医の倫理の枠組みに留まらず、企業倫理（企業の社会的義務と責任）や経済倫理などの社会倫理、などとのバランスを考慮した総合的な倫理的判断能力が求められることが少なくない。本講義では、社会行動ルールの最低基準としての法令を十分ふまえた上で、プライバシー保護などで法律と倫理が衝突する事例、メンタルヘルスの職場復帰で倫理的な判断が困難な事例、経営方針と産業保健の推進が相矛盾する事例など、産業医がその実務においてしばしば遭遇する代表的な事例について、どのように対応したらよいのかを実践形式で発表してもらい、産業医の本来あるべき倫理的姿勢を検討する。さらに、日々の産業医実務に役立つように、実践行動倫理としてできる限り系統的に把握することを目標とする。	
8	□産業保健組織体制と産業医 100-12(02-02)	一瀬豊日・企業担当者	講義 学内 50名	1/22（金）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】わが国の事業場数や産業医需給の動態の概要を理解する。企業により産業保健活動の展開には多様な事例があることを知り、代表的なものを理解する。担当する事業場や企業における産業保健サービスの展開や求人等に活かすことを目標とする。 【概要】わが国には従事者数1,000人以上の民営事業場は1,911あり、従事者数500～999人の事業場は4,211ある（令和6年総務省経済センサスより）。そのうち少なくとも3,000事業場が専属産業医を有する。また、本学には全国の常勤産業医求人のおよそ半数が寄せられていると推定され、この40年余りで800事業場以上に関与している。安全衛生に係わる職種と体制に関しては労働安全衛生法で定められているが、雇用形態、組織図上の位置づけ、業務内容などの詳細は事業場や企業ごとに異なる。加えて労働衛生施策上の重点事項の変化や保健診療点数の変化により、産業保健体制も変化している。本講義前半では、特に産業医に係わる産業保健体制に関して、本大学に蓄積されたデータの解析結果をもとに、類型化と変化の傾向を概説する。後半では、現在産業医求人中の数社の担当者を招聘し、各事業場の求人内容、ならびに産業保健体制を概説していただき、ケーススタディー学習とする。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
9	□労働安全衛生年間計画 100-13(02-02)	田　口　要　人	参加型講義 産業医実務研修センター 30名	3/10（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】１．ケースに基づいた討議に参加して、テーマに関する自分の考えを説明できる。２．事例の設定条件を考慮した安全衛生活動年間計画を作成できる。 【概要】嘱託・専属に関らず、産業医として企業内で活動する際、通常その多くが当該事業所内の安全衛生活動年間計画にそって行われることが多い。当講座では、事例（ケース）をもとに産業医が一般的に関与する労働安全衛生活動を中心に検討し、事業所の規模や種類に応じた年間活動項目を検討し、実際のモデル事業所における産業保健活動の年間計画を策定する実習を通じ、通年での産業保健活動の理解とその中で産業医がどのように関るかについて学ぶ。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可
10	□労働安全衛生マネジメントシステム 100-14(02-02)	森　　晃　爾	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/24（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】労働安全衛生マネジメントシステムの文書体系について説明できる。 【概要】これまでの労働安全衛生活動は、詳細に規定されてきた法令遵守を中心に実施されてきたが、今後は法令を遵守することは最低基準であることを再確認した上で、労働安全衛生マネジメントシステム（ＯＨＳＭＳ）の導入に自律的安全衛生の推進が必要になっている。すでにわが国でも、一部の企業でＯＨＳＭＳの導入が進んでいるが、その実態は安全分野に偏ったシステムであることが少なくない。今後、安全と健康がバランスよく含まれたＯＨＳＭＳが構築されるためには、産業保健専門家がＯＨＳＭＳの導入に積極的に関与する必要がある。本講義では、マネジメントシステムの概念と安全と衛生のバランスが取れたＯＨＳＭＳのために必要な理解をいくつかの課題を通して学習する。	
11	□労働安全衛生マネジメントシステム監査 100-15(02-02)	梶　木　繁　之	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/24（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】 １）内部監査の意義や目的を理解し説明できる、２）内部監査があった際に監査者もしくは被監査者のいずれかとして参画できる、３）内部監査で監査員が得た情報をもとに監査報告書に記す結果の分類ができる。 【概要】労働安全衛生マネジメントシステムが事業所内の安全衛生活動の一環として有効に機能しているかどうかを確認する手段として、監査がある。本講義では、内部監査について概説したのち、仮想の事例をもとに実習を通じて監査員の役割や監査の手順を体験する。	
12	□ケースメソッドによる統括産業医のマネジメント 100-16(02-02)	永　田　智　久	参加型講義 産業医実務研修センター 25名	3/ 2（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】統括産業医の役割について、説明できる。 【概要】労働安全衛生法では、産業医は事業場単位で選任されることになっているが、昨今、企業全体の産業保健職を統括し、企業全体の産業保健施策を立案する統括産業医が増えてきている。実務講座の受講者の多くは、統括産業医には就くことはないかと思われるが、統括産業医と連携して働くことは十分に考えられる。そこで、統括産業医を題材としてケースを用いた討論を行い、統括産業医の機能を理解するとともに、企業の方針と事業場の産業保健活動との関連を学ぶ。	【抽選】　学内者のみ受講可

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
13	□企業経営と産業保健 100-17(02-02)	外　部　講　師	講義 ラマツィーニ小ホール 50名	1/21（木）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】企業トップの視座に立ち、産業医としてできること、すべき、してみたいことことを記述できる。 【概要】企業のトップまたは経営幹部を招聘し、その視座から具体的な思考・活動、および産業保健・産業医に対する期待・課題をお話しいただく。	
14	□ＣＳＲ・ＥＳＧ－健康経営における産業保健活動 100-18(02-02)	永　田　智　久	講義 産業医実務研修センター 50名	1/29（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①CSR、ESG、健康経営について人に説明できる。②労働安全衛生とCSR・ESGとの関連、および、労働安全衛生と健康経営との関連についてを知る。③企業の情報を調べる際、CSR・ESGや健康経営の記述内容をみるよう意識するようになる。 【概要】企業内部における産業保健のあり方として内部統治やコンプライアンス、リスク管理や人的資源管理とその強化への貢献は「健康経営」という考え方に集約される。一方で各利害関係者による企業外からの監査とそれに対して企業側から説明責任を果たす対象として、産業保健活動は取り扱われるようになった。CSR・ESG、健康経営の考え方とその変遷を概観する。その後、各企業のCSR報告書や統合報告書を読み、その分析結果を解説する。受講者は産業医実務の中で産業保健活動のCSR活動や健康経営における位置づけについての基本的な理解と認識を持てるようになることが期待される。	
15	□職場における健康情報の保護と活用 100-19(02-02)	永　野　千　景	講義 産業医実務研修センター 50名	1/25（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業医として労働者の健康情報を適切に取り扱うことができるようになる。 【概要】職場における健康情報の取扱いの現状と課題を整理する。プライバシー権、医療職の守秘義務、労働安全衛生法が規定する事業者による健康情報の取扱い、個人情報保護法に基づく個人情報の保護、個人情報保護委員会の政省令や行政通知に基づく個人情報の取扱いについて概説する。関連分野として、保険者による健康情報の取扱い、EUにおける健康情報の取扱いを紹介する。	
16	□産業医による健診情報の有効活用 100-20(02-02)	安　藤　　肇	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①産業保健活動に関わる情報の内容について説明できる。②産業保健活動に関わる情報の適切な取り扱い及び注意点について説明できる。 【概要】産業保健における個人情報記録には、健康診断結果、就業措置情報、就業情報など多岐に及ぶ。労働安全衛生法（安衛法）に規定された労働者の健康診断結果（健診情報）は、企業および労働者の健康管理における基本的な情報源であり、事業者は、産業医等の医師等の意見を勘案し、就業場所の変更、作業の転換、労働時間の短縮、深夜業の回数の減少等の措置を講ずることが求められている。同法における健診情報は、単なる個人の健康管理記録であることのみでなく、企業における健康管理への有効活用を前提としている。産業保健の現場では、このような情報をどう使うかが求められており、産業医はそれを活用するファシリテーターとしての役割を担っている。本講義では、産業保健における個人情報記録の体系や事例を提示し、現状での問題点などについて解説する。さらに今後の個人情報記録のあり方についての展望を交えながら、産業医（産業保健スタッフ）のワークフローの中での活用について考察を加える。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
17	■労働災害の全般 100-21(02-02)	鶴　田　正　徳	講義 遠隔講義 50名	1/18（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】業務中や通勤中の災害及び脳・心臓疾患、精神障害等職業性疾病に係る認定基準を踏まえた相談対応ができる。 【概要】労災補償制度の説明、労災認定基準（主に「心理的負荷による精神障害の認定基準について」及び「脳血管疾患及び虚血性心疾患等（負傷に起因するものを除く。）の認定基準について」の説明を行う。 また、脳心・精神疾患の労災認定状況を交えながら、産業保健スタッフとしての役割や重要性についての説明を行う。	
18	□労働災害と危機管理 100-22(02-02)	庄　司　卓　郎	講義 産業医実務研修センター 50名	1/14（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①「危機」と「危機管理」の概念について理解できるようになる。②「危機管理」と「リスク管理」の違いを理解できる。③想定外の事態への対応方法を検討できる。 【概要】近年、災害の防止を主眼としたリスク管理と同時に、災害が発生してしまった時の対応としての危機管理が重要となってきている。平素から危機管理を行っていなかったために、想定外の事態に直面した時に、適切な対応が行えず企業の存続が危ぶまれるケースも少なく無い。安全管理の現場においても、事故やトラブルを起こさないことだけで無く、発生してしまった想定外の事象に対応して復旧する能力であるレジリエンスが注目されている。講義では、危機管理の進め方や危機に強い組織のあり方を紹介し、事例を通じて危機管理について考える。	
19	□製品安全と品質管理 100-23(02-02)	庄　司　卓　郎	講義 産業医実務研修センター 50名	2/26（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①製品の安全品質の考え方を理解する。②品質管理の手法を使えるようになる。③製品の安全品質向上に必要な対策を提案できる。 【概要】製品安全と品質管理は、企業が顧客からの信頼を得て社会的責任を果たすために重要な役割を担う。かつては不良品や生産工程のトラブルを減らす目的で現場の小集団活動として行われてきた品質管理は、製品の設計から商品のアフターサービスまで幅広い領域をカバーするものとなっている。近年では、製品使用時の安全の観点から、安全品質が注目されている。 本講義では、労働安全ともつながる製品の安全について、欧州の規格や技術者倫理の視点も踏まえ検討する。事例の分析なども通じて、製品安全と品質管理の概念と手法について修得する。	
20	■労働衛生行政における厚生労働省の役割と部局間連携 100-24(02-02)	諸　冨　伸　夫	講義 遠隔講義 50名	2/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業保健関連法令に関する文書等を理解し、労働者に説明できる。 【概要】多様な人材が安全かつ安心して働き続けられる職場環境を整備するため、令和７年に労働安全衛生法が改正された。この改正により、高齢者の労働災害防止の推進等が盛り込まれており、社会変化による影響が認められる。一方、診療報酬制度においても、平成30年度改定で治療と仕事の両立支援に関する項目が新設されて以降、その内容は年々拡充されている。このように、労働衛生行政は大きな変革期にあり、円滑な産業保健活動のためには、単なる法令遵守のみならず、その趣旨と行政体制の仕組みへの十分な理解が不可欠である。さらに、労働者が一個人として生涯健やかに過ごすためには、地域保健と職域保健が連携した「切れ目ない支援」の実現が急務である。本講義では、政策立案における基本的な考え方を概観した上で、産業保健と地域保健の連携を具現化する鍵となる「部局間連携」のあり方を学ぶことを目的とする。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
21	□企業外労働衛生機関の実際 100-25(02-02)	渡　邉　聖　二	講義 産業医実務研修センター 50名	1/27（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】主に中小企業に産業保健サービスを提供する企業外労働衛生機関のサービス内容、活動について理解できる。 【概要】中小企業は、その規模故に、社内スタッフのみで産業保健活動を完結することは難しく、企業外専門スタッフのサポートをうけることが一般的である。企業外労働衛生機関は、企業外からサービスを提供する機関のうち、民間ベースで最も機能している機関である。総合的企業外労働衛生機関には、各種産業保健専門スタッフが所属し、産業保健サービスを提供することが可能である。また、企業外労働衛生機関は、我が国に広く存在する健康診断実施機関が、産業保健への専門性を高めたものであり、その充実が我が国の中小企業への産業保健サービス提供方式を大きく変える可能性をもっている。本講義では、大学近郊の企業外労働衛生機関の活動の概要を理解し、機関から提供される各種サービスについて学ぶ。また、機関医師から客先企業の産業保健状況等を紹介することにより、産業保健サービス提供側・需要側の双方について理解を深める。	
22	■産業保健総合支援センターとの連携 100-26(02-02)	筒　井　保　博	講義 遠隔講義 50名	2/ 2（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業保健総合支援センターの支援事業を自身の産業医活動に活用できる。 【概要】我が国の産業保健は労働安全衛生法の立法趣旨に従い、事業者は弱い立場の労働者を守らなければならない、というスタンスで実施されている。そして法律とは責任者が遵守すべき最低の基準である事から、事業者には更なる産業保健の拡充が求められる。大企業における産業保健は産業医や保健師などの産業保健スタッフ、健保組合、企業外労働衛生機関等が連携して実施されている。その一方で日本における事業所数の９９%以上、労働者の7割が中小企業で就労している現状を鑑みると、中小企業への産業保健支援は現状は不十分で、産業保健総合支援センター等の産業保健関連組織と産業医の更なる連携が重要な課題となっている。	
23	■健康保険と健康保険組合 100-27(02-02)	志土地　直　寿	講義 遠隔講義 50名	2/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】健康保険組合の成り立ちと設立の意義が把握でき、加入者に対して行う保険給付事業や保健事業が理解できる。 【概要】企業では社員７００人以上（または３０００人以上）の会社であれば、国の許可を受けて単独で健康保険組合を設立することができ、この組合組織によって保険給付事業と保健事業（健康づくり）という二つの事業を行っている。また、単独で健保組合を持つことができない中小企業では協会けんぽ（旧、政府管掌健保）に加入している。企業において産業保健活動を行う際には、健康保険と組合の仕組みに精通することは重要である。この講義では保険組合の一例として健康保険組合連合会福岡連合会から講師を招き概要について解説していただく。	
24	□日系企業の海外事業場における産業保健 100-28(02-02)	伊　藤　直　人	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 7（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】日本企業がグローバルに産業保健を展開する際に助言できるよう、日本と海外における安全衛生体制の違いを理解できる。 【概要】本講義は、日本企業の進出の多いアジア地域、特に中国における産業保健活動について解説する。日本企業の海外進出は盛んであり、外務省の海外在留邦人数調査統計によると、本邦の領土外に進出している日本企業の総拠点数は７万拠点を超え、その約7割がアジア地域である。日本企業の海外拠点における労働衛生活動については、現地の担当者が法令に準拠して行っていることがほとんどであると考えられるが、先進国に比べて発展途上国や新興国においては、法令の整備に比べて時間がかかる専門人材の養成が遅れており、また外部サービス資源の質についても必ずしも標準化されていない。このような課題に対して取り組む日本企業の活動を紹介しながら、今後グローバルに展開する企業の産業保健について検討する。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
25	■□外資系企業・国際展開する企業における産業保健活動 100-29(02-02)	岡　原　伸太郎	講義 遠隔講義 50名	2/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】実務において産業保健の目的を考え、その目的に到達するための活動戦略を建てることができる。また、その戦略を実行し、管理することができる。 【概要】日本の企業では労働安全衛生の関係法令に規定された事業者の責任や産業医の職務などに基づいた労働安全衛生の実行、つまり法令遵守が一般的に重要視されている。しかし、当然ながら法令を始めとする企業経営の外部環境は国や地域によって様々な違いがあるため、世界規模で企業経営を展開していくためには当該国・地域の法令や文化・慣習を遵守することに留まらず、労働安全衛生の本質的な意義・役割を捉えた活動が必要となる。また、単に労働者を守るということに留まらず、より健康で幸福な労働者を創出することで、生産性が高く、事業を通じて社会により貢献できる組織となることも必要とされる。本講義では従業員の安全衛生・健康をこのように捉えてグローバル経営を行う企業の一例を紹介する。	
26	□性差に着目した労働衛生管理 100-30(02-02)	辻　　真　弓	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 1（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】女性労働者に関する法を理解し、女性の就業が禁止されている業務や就業制限のある業務を把握する。 【概要】近年、産業構造の変化や急速に進む少子高齢化に伴う労働力不足などから、企業と男女労働者を取り巻く環境が大きく変化しています。働く人が性別により差別されることなく、かつ、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分に発揮できる労働環境を整備することは、現代の社会において重要な課題になっています。	
27	□女性労働・労働者保護 100-31(02-02)	長　井　聡　里	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 1（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】母性保護規定を理解し、現場で母性健康管理を実践できる。また各職場に応じた女性労働者の優先的健康課題を抽出し、健康づくりを指導できる。 【概要】少子高齢化社会の職場では、性別・年齢・国籍などの属性のみならず、様々な事情を抱えた労働者に配慮し、またその特性を踏まえて実施することが大切となる。かつての労働者保護は、今日、産業保健におけるダイバーシティ&インクルージョンとして理解する。 また女性の就労については、妊娠出産期の特別な健康状態である母性健康管理を中心に、男性とは異なるホルモン環境によって変化する生理と病理を理解し、生涯を通じた健康管理のあり方について学ぶ。特に近年の健康経営やSDGｓなどの社会ニーズを踏まえ、母性保護と女性活躍の違いを知って、そのための健康支援体制づくりを理解する。	
28	□雇用・就業形態の多様化と安全衛生管理 100-32(02-02)	大　神　　明	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/27（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①非正規雇用者の種類と違いを知る。②派遣社員と請負社員との違いを人に説明できる。③非正規雇用者の健康影響を調べる情報源を3つ以上，列挙できる。 【概要】企業の中では、正社員のみでなく、パート・アルバイト、契約社員・嘱託社員、派遣社員、請負社員など、雇用・就業形態が多様化している。特に派遣社員と請負社員について、事例と通して、企業の責任で安全衛生・産業保健活動をどのように実施するかについて検討する。雇用・就業形態が多様な労働者の背景を理解したうえで、起こりうる健康影響について検討する。また、雇用・就業形態に起因する健康影響を調べるための情報源を理解する。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
29	□中小企業における産業保健 100-33(02-02)	吉　積　宏　治	講義 産業医実務研修センター 50名	1/25（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】日本における中小企業並びに産業医の実情を理解し、産業医活動への興味を更に増す。 【概要】中小企業は、我が国の全企業の９９パーセントをしめており（従業員ベースでは７２パーセント）、我が国の産業保健の充実を目指す時、中小企業の産業保健をいかに実践していくかは、非常に重要な課題である。本講義では、中小企業の定義や我が国における位置づけを理解するとともに、中小企業の産業保健の実際についての認識を深める。また、中小企業の労働衛生上の特徴や産業保健サービスの提供体制について学習する。中小企業産業保健をサポートするための基本的社会システムや、今後の中小企業産業保健における充実に向けての基本的な考え方について学ぶ。	
30	□農業における産業保健 100-34(02-02)	上　田　　厚	講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 2（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】農業を含む第一次産業従事者の産業保健上の現状と問題点について理解し、対面する患者に対して適切な臨床的対応と安全・衛生管理の指導ができるようになる。 【概要】農業においては、腰痛業務、化学物質作業（農薬など）、過重労働、暑熱・寒冷作業、騒音など様々な有害要因が存在している。このようなリスクを抱えているにもかかわらず、農業従事者の大半は自営業あるいはそれに準じた者であるため、充実した産業保健サービスを受けることが難しい環境にある。本講義ではこのような農業の産業保健における現状と課題について理解することを目的とする。	
31	□個人の感情的知性と組織の健康 100-35	河　村　洋　子	講義 産業医実務研修センター 50名		コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①受講生は、講義終了後に感情的知性について自分の言葉で説明することができる。②受講生は、講義終了後に感情的知性の産業保健の現場での活用をイメージすることができる。 【概要】新型コロナウィルス感染症のパンデミックを経験し、私たちの働き方やライフスタイルは大きな変化を強いられ、大きなストレスを経験しました。このような中、再燃している概念の一つに感情的知性（EI：Emotional Intelligence）があります。EIに関して、実証的な研究も蓄積され、一方職場でのコミュニケーションの質を高め職場環境をよりよくするために実践的に活用できる概念だといえます。 本講座の狙いは、受講生の方々が産業医として活動される中で、自ら実践したり、担当されている現場の働く方々に提案できる実践的なアイデアを持ち帰っていただくことです。 私は、ヘルスコミュニケーションを専門としており、専門分野の科学的知見に基づき、「明日からできること」そして「やってみると自分だけではなく、周りの人、自分の属する私的公的双方の集団に変化を生みうること」という観点で講座の内容を構成します。	
32	□企業における教育 100-36(02-02)	柴　田　喜　幸	講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 1（月）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】産業保健施策を推進するうえで、その前提となる企業の教育制度全体の仕組み・取り組みを理解する。 【概要】企業において、一般従業員に対してどのような教育が施されているか、企業の教育についての考え方や実践例を学ぶ。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
33	□インストラクショナルデザインの考え方 100-37(02-02)	柴　田　喜　幸	講義 産業医実務研修センター 50名	1/12（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】　講義と資料を参考に、チェックリストを8割程度網羅した、衛生・健康教育の設計書を作成（分析と設計の構造化まで）できる。 【概要】教え方の技術、それがインストラショナルデザイン（Instructional　Design、教授設計）である。「健康に関心をもたせ行動変容につなげる」ことは産業医の大きな仕事であり、「教え方」は重要な技術の１つと考える。「必ずしも産業医の話への基本知識や関心のない人」に、効果的・効率的・魅力的に何かを教える・伝える技術を、ワークを通じて習得する。尚、本講義は「労働衛生・健康教育実習」(100-39)の前提となる内容なので、当該実習科目を受講する場合は、本講義を受講することが望ましい。	
34	□プレゼンテーション 100-38(02-02)	柴　田　喜　幸	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 3（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】　講義と資料を参考に、指定の４つのポイントを全てふまえ、自己紹介プレゼンテーションの設計と実施および他者へのコメントができる。 【概要】産業医の主要活動項目には、嘱託・専属に関らずプレゼンテーションの機会が多々存在する。プレゼンテーションには、主に従業員や管理職などを対象に行う講義・講習形式のものが多い。労働安全衛生に関する教育や啓蒙、産業保健活動の周知の機会として重要であるプレゼンテーションについて、系統だった教育機会はそれほど多くない。当講座では、集団に対する講義形式のプレゼンテーションの要素を中心に、実習を通じて効果的なプレゼンテーションの基礎について学ぶ。	
35	□労働衛生・健康教育実習 100-39(05-08)	柴　田　喜　幸	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/15（月） 2/26（金） 3/ 3（水） 3/10（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分	【到達目標】　講義と資料を参考に、チェックリストを8割程度網羅した、衛生・健康教育の設計書作成と実施および他者へのコメントができる。 【概要】産業医が行う労働衛生教育・健康教育の意義を踏まえて、自身が産業医先で行う集合研修場面（web実施でも可）を想定し、設計立案を行う。 また、設計に基づき実際の教育資料を作成したのち発表し、受講者同士でも講評し合う。 （設計については「インストラクショナルデザインの考え方」の講義で詳しく触れる。） この実習を通じて、教育を実際に行う際の留意事項および対象に応じた内容、ツール、表現で教育を行うことのポイントを体験的に学ぶ。	学内者のみ受講可
36	□安全衛生委員会（大学　委員会参加） 100-40(02-02)	西　田　千　夏	学内実習 １号館１４０１号室 20名	2/ 9（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分	【到達目標】安全衛生委員会に出席し、意義、目的を理解する。 【概要】安全衛生委員会は職場における安全衛生上の課題を討議し、改善計画や安全衛生活動計画などを策定する場であり、安全衛生において非常に貴重な活動である。安全衛生委員会において、産業医がその役割を発揮することは、第一義的に必須な事項といえる。本実習では、産業医科大学の安全衛生委員会を見学することで、大学組織の安全衛生委員会でどのようなことが審議されているのか、また、課題となっているのかを学習する。	【抽選】　学内者のみ受講可

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
37	□学内産業医活動：職場巡視 100-41(02-02)	西　田　千　夏	学内実習 学内 20名	2/16（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分	【到達目標】職場巡視の実際について、実習を行い、経験を積む。 【概要】職場巡視は、「産業医業務は、職場巡視にはじまり職場巡視に終わる」といわれるほど、産業医活動において基本的活動である。加えて、職場巡視は産業医の法定業務でもある。本実習では、産業医科大学における職場巡視に同行し、チェックリストを使用しながら、実際の職場巡視を経験する。その中で、職場巡視における基本的着眼点を確認し、業務としての職場巡視実施に関するイメージを身につける。	【抽選】　学内者のみ受講可
38	□職場巡視の実際 100-42(05-08)	センター教員	学外実習 学外 20名	1/19（火） 1/26（火） 2/ 3（水） 2/10（水）	コマ数 3 医師会認定単位区分	【到達目標】１．訪問先の巡視後に労働衛生の観点からコメントを述べることができる。２．職場巡視報告書に良好事項、改善検討事項をそれぞれ3つ以上記載できる。 【概要】職場巡視は、産業医の法定業務であるだけではなく、産業医として活動する上で必要な情報収集したりコミュニケーションしたり出来る機会であり、「産業医業務は、職場巡視にはじまり職場巡視に終わる」と言われるほど、産業医活動における基本的活動である。本学習では、学外の様々な事業場を訪問し、実際の企業において、産業医職場巡視を模擬体験する。その中で、職場巡視における基本的な振る舞いや着眼点ならびに業務としてのイメージを身につける。	【抽選】　学内者のみ受講可
39	★職場巡視の事後措置 100-43(05-08)	センター教員	レポート提出 20名	1/26（火） 2/ 2（火） 2/10（水） 2/17（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分	【到達目標】職場巡視報告書に良好事項、改善検討事項をそれぞれ3つ以上記載できる。 【概要】本講座は、別講座『職場巡視の実際』の事後措置として実施する(両方の受講を要する)。当該講座に対する職場巡視報告書の提出期限とする。本学習では、大学近郊の事業場において職場改善の実例を模擬巡視で学習した結果について、受講者が各自、職場巡視報告書の形にまとめ、e-learning上で報告書の添削指導を受ける。期日までに添削指導を受け終わることができるように、余裕をもって報告書を提出し、提出後も添削状況の確認を行うこと。	【抽選】学内者のみ受講可。レポート提出のみ。
40	□職場改善の実施 100-44(01-01)	渡　邉　裕　晃	講義 産業医実務研修センター 50名	1/13（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】職場改善の進め方について述べることができる。 【概要】事業場において参加型のリスクアセスメントを行うことで、危険・有害要因に関する情報やリスク対策に関するアイデアが共有でき、個々のリスクベースでの対応能力の向上につながり、事業場の安全衛生水準の向上に寄与すると考えられる。この講座では、労働安全衛生マネジメントを運用しながら、リスクアセスメントを活用し、参加型の職場改善を実施している事例について紹介し、職場改善の進め方について理解を深める。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
41	□産業医活動の実際 100-45(03-04)	外　部　講　師	講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 1（月） 2/12（金）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】講師から学んだことを3つ以上記載できる。 【概要】産業医として活動されている卒業生等を講師に迎え、実際の産業医職務の楽しさ、苦労、工夫などを後進にご紹介いただく機会としている。	
42	□ケースメソッドによる事例検討 100-46(05-08)	センター教員	参加型講義 産業医実務研修センター 20名	1/28（木） 2/15（月） 3/ 5（金） 3/ 9（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分	【到達目標】ケースに基づいた討議に参加して、テーマに関する自分の考えを説明できる。 【概要】企業における課題に、産業医として直面した際の問題解決能力を向上させるために、実例に基づいた企業の概要・状況と直面している課題が記述されたケース(事例)を提供し、その課題解決のための企画立案を行う。この講座は、多くのビジネススクールで用いられている学習手法であるケースメソッド方式で進めるため、参加者は、事前に各自でケースを読み、自分なりの答えを検討してくるという事前準備が求められる。当日は小グループに分かれて問題分析や企画立案を行った後、講師がディスカッションリーダーとなって全体討論を行い、最後に、取り上げたテーマについて解説を行う。ケースのテーマは、リスクマネジメントや健康管理など、様々である。	【抽選】学内者のみ受講可
43	□社会的健康規定要因 100-47(02-02)	藤　野　善　久	講義 産業医実務研修センター 50名	1/12（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①健康の社会環境モデルについて理解する。②職域における健康格差の発生メカニズムについて理解する。 【概要】近年の公衆衛生学の重要テーマである社会的健康規定要因（Social Determinants of Health）の観点から、企業施策と健康影響の関連を理解する。	
44	□質問票を使った調査 100-48(02-02)	藤　野　善　久	学内実習 産業医実務研修センター 50名	1/18（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 実地 1.5	【到達目標】質問紙を作成する際の手順、注意点を理解する。 【概要】疫学研究分野では、主にばくろ評価手法として、質問紙法が広く用いられている。職歴や既往歴、生活習慣といった個人特性や、医療や社会医学的問題に対する個人的な意識や認識など、主観的および客観的な情報を短時間に多くの対象者から収集する手段として、実用的価値は高い。ただし、質問票の作成に当っては、研究趣旨の説明、簡潔明瞭な文章表現、集計解析作業への配慮など、予め考慮しておくべきことは少なくない。本講義では、医学研究における質問紙法について、実際の作成を通じて、実施手法を習得することを目的とする。具体的には、質問票と面接法の違いの理解、選択回答式質問と自由回答式質問の理解、回答率を上げるための配慮、質問紙の妥当性と再現性などを概説し、実際の質問紙の実例を検討するとともに、自ら質問紙を作成し、グループ討議を通じて理解を深める。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
45	□産業医学と総合診療・家庭医療との連関 100-50(02-02)	岩　田　　勲	講義 産業医実務研修センター 50名	2/19（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①総合診療、家庭医療の理念とコアコンピテンシーについて説明できる。②産業医と総合診療医・家庭医に共通する役割概念について説明できる。 【概要】第19番目の基本専門領域である総合診療専門医制度が導入された。その趣旨は予防から個人まで、包括的、継続的、調整的な視点で多様かつ未分化な問題を扱う役割の強化であり、職域と地域の違いはあるが、産業医の職務とも相通じる部分が大きい。本講義では総合診療・家庭医療の概要および産業医学領域との潜在的な連関の可能性について解説する。	
46	□災害時における産業保健活動の基礎 100-51(02-02)	立　石　清一郎	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 8（月）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】 災害時における産業保健の基礎的な知識を習得し、最低限の実践力を身につける。 【概要】 災害時には自ら被災しながらも様々な健康影響を受けることが知られている。これらの健康影響を最小化するためには、基本的な災害時の影響を産業医が理解しておくこと、産業医が実践力を有していること、産業医が実行する行動力を持っておくこと、事前に体制などの準備がなされていること、などが必要である。本講義においては、模擬災害事例などを通じて学びを深める。	
47	□産業保健現場におけるＬＧＢＴＱ＋支援について 100-52(01-01)	空　閑　玄　明	講義 産業医実務研修センター 50名	2/15（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】LGBTQ+、合理的配慮について理解し、現場において相談対応が来た際に当事者、上司、人事それぞれに適切な説明、支援を実施できるようになる。 【講義概要】１）LGBTQ+についての概要について説明する。２）現場における合理的配慮について説明する。３）製造業、サービス業等複数の産業保健の現場において実際に受けたLGBTQ+関連の相談、対応依頼ケースを紹介し、実際の対応を通して適切な合理的配慮について検討する。	
48	■海外事業場での産業保健活動 100-53(02-02)	小　林　祐　一	講義 遠隔講義 50名	1/25（月）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】海外で働く従業員（海外勤務者）に対して、産業医及び産業保健部門が提供すべき情報とサポート内容として、次の項目を理解する。①海外における医療システムと医療保険の種類とその使い方について、②健康診断及び事後措置と継続的な健康管理について、③感染症予防・予防接種について、④メンタルヘルス不調者の対応について、⑤慢性疾患と急性疾患の管理・緊急搬送におけると医療機関、医療サポートエージェントとの連携について、⑥海外勤務者の過重労働に関する考え方について、⑦その他トピックがあれば含める。 【概要】産業医は、グローバル企業における産業保健活動にどのように関わることができるのか。上記の項目①から⑦を具体的な事例、現地訪問時の写真などをもとに解説する。特に、グローバル企業における産業医の役割を解説する。	

令和08年度　　総括管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
49	□医療機関における安全衛生活動 100-54(02-02)	清　水　真喜子	講義 産業医実務研修センター 50名	1/27（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】 1．医療機関における安全衛生活動の特徴を理解する 2．医療現場に特有のリスクとその対策を説明できる 3．産業医の役割と安全衛生活動の基本的枠組みを理解する 【概要】 医療機関は労働安全衛生法の適用対象であり、安全衛生管理体制の整備とリスクに応じた対策が求められる。一方で、感染曝露、化学物質、針刺し事故、長時間労働、心理的負荷など、医療特有のリスクを有する。 本講義では、これらのリスクを踏まえ、作業環境管理、作業管理、健康管理を中心とした安全衛生活動の基本を概説するとともに、医療機関における産業医の役割について解説する。	
50	□産業医のキャリアパスと専門医制度について 100-55(05-05)	大　神　　明	講義 産業医実務研修センター 50名	1/29（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】日本産業衛生学会専門産業医制度、社会医学系専門医・指導医制度の概要を理解し、産業医業務のスキルアップに繋げることができる。 【概要】日本産業衛生学会は産業衛生専門医制度を持っており、産業保健分野の業務を担当するのに必要な知識、技術、問題解決能力が一定水準にあることを学会が認定している。また、社会医学系専門医は、医学を共通基盤とし、実践的な個人へのアプローチを有しながらも、広範な健康レベルを有する集団や社会システムへのアプローチを中心とする社会医学の専門医であり、臨床系の専門医制度機構における専門医と並列に制定されている。これらの概要について説明し、産業医としてのキャリアパスおよびスキルアップに寄与する事を目的とする。	
51	□【特別講義】快適な職場づくりに向けたエルゴマアプローチ～労災予防の作業管理実務と応用 100-99(01-01)	神　代　雅　晴	講義 学内 50名	2/ 2（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】 作業管理の任務を英語表記の「Working Conditions & Ergonomics」から再考し,次いで,これからの産業保健活動の中枢を担う作業管理へと進展させるためのエルゴマ（Ergoma：Ergonomics & Management)の考え方とアプローチ及び技法を理解する. 【講義概要】 ①本講義は労働安全衛生規則第14条第1項で述べられている産業医の5つの主な職務(1.健康診断・面接指導 2.作業環境の維持・管理 3.作業の管理心身の負担軽減,人間工学的な指導 4.労働衛生教育・健康相談 5.職場の巡視)の中の3と5に焦点を合わせている. ②我が国の産業保健誕生期の動きを探ることにより作業管理本来の役割を知ることができる ③作業管理本来の役割を果たすためには産業安全・保健の世界に人間工学(ergonomics)と生産管理・経営管理(industrial engineering and management－これを総じてエルゴマと呼ぶ－）を積極的に導入しなければならない.特に作業管理の「見える化」を図る為に重要な作業改善活動には不可欠である. ④エルゴマの考え方を取り入れたエルゴマアクションチェックリストを職場巡視時に持参することが勧められる.本講義ではその使い方と応用の仕方を説明する. ⑤最後に,職場の腰痛予防,転倒災害防止,ヒューマンエラー防止の3点を取り上げて現場写真等を用いながら「何ができるか?」「どのような改善提案ができるか?」等についてエルゴマ視点から作業管理演習を行う.	
					コマ数 医師会認定単位区分		